

**けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会
第22回 企画・広報分科会
2022年度活動報告・2023年度活動計画(案)**

2023年3月28日
企画・広報分科会

○ 分科会の構成（敬称略）

（リーダー）

香山 健太郎（NICTユニバーサルコミュニケーション研究所 総合企画室 室長）

（サブリーダー）

村田 稔樹（沖電気工業 技術本部 研究開発センター AI研究開発部 エキスパート【4月より】）

○ 分科会の活動方針

1. 創造系活動

- ・協議会活動のメリットを最大限に発揮する新たな活動の創造
- ・定期的な会員への研究ニーズ調査
- ・研究ニーズに基づき、新たな産学官連携研究開発テーマを検討

2. 促進系活動

- ・各研究開発テーマ間の交流促進
- ・シンポジウムや施設見学会等イベントの企画・実施による産学官連携促進
- ・産業振興や市民生活向上の観点からのアウトプット活用方策検討などの成果活用促進

3. 整備系活動

- ・研究開発整備要望など研究活動推進

1. 創造系活動

- ① 2022年度は協議会設立20周年となる節目の年となるため、記念イベントや活性化策を企画、実施した。
- ② コロナ禍の中での新たな活動のあり方を検討し、オンラインでの活動を主として活動を行った。
- ③ WG活動費を配分し、WG活動の支援を継続した。出展費用、実験費用、サーバ費用などに活用された。

2. 促進系活動

- ① 協議会設立20周年記念シンポジウム「現実世界(フィジカル空間)とサイバー空間が高度に融合した未来社会を展望する～サイバネティック・アバター×サイバーセキュリティの活用により可能となるエコシステム～」を3月6日に3年ぶりにリアルで開催し、73名（内、23名は一般の方）の方にご参加いただいた。
- ② WG活性化活動の提案を募集し、2件を採択して、総額約93万円を配分した。
- ③ 総会を6月16日に開催し、特別講演としてクラスター株式会社の加藤CEOから「メタバースが実現する未来」と題してご講演いただいた。
- ④ 「遠隔コミュニケーション準備WG」の活動と、本WGへの格上げを支援した。
- ⑤ 「遠隔操作型ロボットによる安心安全なアバター競技会の実装準備WG」立ち上げの準備を行った。
- ⑥ けいはんなR&Dフェア2022(オンライン開催)において、本協議会から「8K分身通信（遠隔身体拡張） - 8Kリアルバース 8KRealverse -」を出展し、研究活動の紹介を行った。
- ⑦ ウェブページ、動画サイトの充実により、協議会活動の一層の情報発信、普及・啓発活動につとめた。シンポジウムの講演を動画サイトから公開している。
- ⑧ 情報通信の研究開発にかかわる他団体との交流として、シンポジウムをAC・Netの例会としても位置づけ、共同で運営するとともに、協賛いただいた。

3. 整備系活動

- ① オープンラボ施設の充実に向けた活動として、研究開発テストベッドネットワークJGNなどのネットワーク施設の維持、整備をNICTで実施した。
- ② オープンラボ施設の広報を継続。現在4社が利用。また、南側ロビー掲載物等の更新を行った。

2022年度の活動報告-2

	2022年 3月 4月 5月 6月				7月 8月 9月			10月 11月 12月			2023年 1月 2月 3月		
企画・広報分科会	● 第20回 分科会 (4/11、オンライン開催)				● 第21回 分科会 (8/1-12、書面開催)								
創造系活動					WG活動支援 新規活動の企画・計画								
促進系活動	→ 総会企画準備							● けいはんなR&Dフェア2022に出展 (10/6-10/7、オンライン開催)			→ シンポジウム開催準備 ● 協議会主催 20周年記念 シンポジウム(3/6)		
					随時情報発信(Webサイト&イベント案内メール送付)								
整備系活動					けいはんな情報通信オープンラボの整備・運用								
					JGNなどのネットワーク施設整備・運用								
【協議会関連】	● ● ● 第22回 運営・研究部会 (5/20、 オンライン開催)				● 第21回 総会(6/16、 オンライン開催)			● 第23回 運営・研究部会 (8/19-9/2、書面開催)					
					事務局打合せを月1回程度開催								

●日時: 2023年3月6日(月) 13:00~17:00
 ●場所: ホテル阪神大阪10階 ザ・ボールルーム
 ●アーカイブ配信: あり(3月8日より配信開始)
 ●参加者数: 73名(内、一般(非会員)23名)
 ●主催: けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会
 ●協賛: 情報通信技術研究交流会(AC・Net)
 ●概要: 3年ぶりにリアルで開催した。今年度は協議会設立20周年となる節目の年であり、基調講演の中で、20年間の協議会活動を振り返り、成果をご紹介いただいた。現実世界(フィジカル空間)とサイバー空間が高度に融合した未来社会において、サイバネティック・アバターとサイバーセキュリティの接点に着目し、両者の技術の組み合わせが経済合理性のある持続的な社会の実現にいかに関与するかについて、講演とパネルディスカッションを通じてご議論いただいた。一般から23名のご参加があり、協議会会員のみなならず、一般の方の今回のテーマへの関心の高さが伺われる。遠隔コミュニケーション技術及び遠隔操作型ロボットに関する二つの新たなWGの立上げ等により、本協議会の活動を活性化させ、2025大阪・関西万博に向けた産学官連携の強化に向け、関係者との連携を図って参りたい。

●プログラム

テーマ: 現実世界(フィジカル空間)とサイバー空間が高度に融合した未来社会を展望する
 ~サイバネティック・アバター×サイバーセキュリティの活用により可能となるエコシステム~
 開会挨拶: 村尾 和俊(当協議会 理事長、西日本電信電話株式会社 相談役)

基調講演: 「現実世界(フィジカル空間)とサイバー空間が高度に融合した未来社会におけるサイバネティック・アバターの役割とは」

萩田 紀博氏(大阪芸術大学 芸術学部 アートサイエンス学科 学科長・教授)

特別講演1: 「現実世界(フィジカル空間)とサイバー空間が高度に融合した未来社会におけるサイバーセキュリティの役割とは」

吉田 真紀(情報通信研究機構 サイバーセキュリティ研究所 セキュリティ基盤研究室 主任研究員)

特別講演2: 「新技術の活用による事業創造・未来社会の実現に向けた提言」

田中 昭二氏(デロイト トーマツ コンサルティング 合同会社 大阪オフィス 執行役員、関西経済連合会ベンチャー・エコシステム委員会副委員長)

パネルディスカッション: 「サイバネティック・アバター×サイバーセキュリティの活用により可能となるエコシステムとは」

パネリスト: 萩田 紀博氏、吉田 真紀、田中 昭二氏、モデレーター: 内元 清貴(当協議会 運営・研究部会長、情報通信研究機構 ユニバーサルコミュニケーション研究所長)

閉会挨拶: 井上 知義(総務省 近畿総合通信局長)



開会挨拶 村尾 和俊 (当協議会 理事長)



基調講演 萩田 紀博氏 (大阪芸術大学)



特別講演1 吉田 真紀 (情報通信研究機構)



特別講演2 田中 昭二氏
(デロイト トーマツ コンサルティング)



パネルディスカッション パネリスト: 萩田 紀博氏、
吉田 真紀、田中 昭二氏、モデレーター: 内元 清貴



閉会挨拶 井上 知義
(総務省 近畿総合通信局長)

当協議会のWG活動活性化のため、2025大阪・関西万博に向けての取組みや、関西の抱える課題に対する取組み、既存のWGにおける活動体制の強化や新たな活動計画の策定など「新たなWG設置に向けた、または、既存のWG活動を加速させる構想と、その活動計画(予備調査・研究、参画者募集活動など)の提案」を募集した。

○募集期間

2022年10月14日(金)から2022年11月15日(火)まで

○提出を受けた提案書

3件の応募がありました。

- ・新規のWG設置に向けた構想と活動計画の提案:1件
- ・既存のWG活動を加速させる構想と活動計画の提案:2件

○審査員

運営・研究部会から5名の審査員を選任し、うち1名が利害関係者とのことで辞退され、4名の審査員にて審査いただきました。

○採択された提案

以下の2件を採択し、配分額はそれぞれ、470,180円、454,501円としました。

- ・遠隔操作型ロボットによる安心安全なアバター競技会の実装【新規WG】
- ・遠隔コミュニケーション準備WG【既存WG】

1. 創造系活動

- ① ワークショップ開催等による、情報通信分野の新事業・新産業の創出の議論の実施等を検討。
- ② 2030年に向けた協議会のビジョンを検討。
- ③ 会員アンケート、ニーズ調査により、協議会への要望等を確認し、活動テーマへの反映を推進。
- ④ WG活動費によるWG活動の支援を継続。

2. 促進系活動

- ① けいはんな情報通信オープンラボシンポジウム2023を開催（2024年2月～3月予定）。
- ② シンポジウム等の開催による情報提供、人材育成を実施。
- ③ 「遠隔コミュニケーション準備WG」及び「遠隔操作型ロボットによる安心安全なアバター競技会の実装準備WG」の活動と、本WGへの格上げを支援。本WG格上げに伴う分科会再編を検討。
- ④ 2025年の大阪・関西万博にあわせて実施予定のけいはんなにおけるイベントに向けた活動を検討。
- ⑤ けいはんなR&Dフェア2023において、広報及び研究活動の紹介を実施（10月）。
- ⑥ ウェブサイト・動画サイトを活用した協議会活動の一層の情報発信や広報・啓発活動を強化。
- ⑦ 情報通信の研究開発にかかわる他団体（AC・Net、超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム、グローバルコミュニケーション開発推進協議会、高度言語情報融合フォーラム等）と連携したイベントの開催や情報交換・交流・連携促進を実施。
- ⑧ 地域の研究開発活動との連携を強化。けいはんなR&Dイノベーションコンソーシアム等との連携を検討。

3. 整備系活動

- ① 研究開発テストベッドネットワークJGNなどのネットワーク施設を含むオープンラボ施設の維持・運用と充実に向けた活動を実施。
- ② オープンラボ施設の広報を実施。

2023年度の活動計画-2

	2023年										2024年			
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
企画・広報分科会	● 第22回 分科会										● 第23回 分科会 (3~4月)			
創造系活動					新たな活動に向けた検討 2030年に向けたビジョン検討、WG活動支援 ニーズ調査、テーマ検討、体制整備									
促進系活動	→ 総会準備							→ シンポジウム開催準備			● 協議会主催 シンポジウム (2~3月)			
					随時情報発信(Webサイト&イベント案内メール送付)									
整備系活動					けいはんな情報通信オープンラボの整備・運用									
					JGNなどのネットワーク施設整備・運用									
【協議会関連】	● 第24回 運営・研究 部会		● 第22回 総会(6/5)					● けいはんな R&Dフェア2023 (10/6,7)			● 第25回 運営・研究 部会 (4~5月)			
					事務局打合せを月1回程度開催									